



2021年5月25日(火)

下鳥羽地区の中学生を招き防災学を開催しました

5/25(火)豊科南中学校下鳥羽地区の1年から3年生の60人の皆さんが、『地域活動の日』として長野工場に於いて防災学習と、近隣にある大同神社・日光寺・下鳥羽公園等で奉仕活動(清掃)を行いました。

豊科南中学校ではこの地域活動(年1回)を通し地域の人材として、地域を守り支える大切さを知り、地域を理解し大切に思う心を養ったりすることを目的に昨年度より取り組んでおります。

本年4月この活動計画を地区PTAの方からお聞きした中、ASの防災システムや防災倉庫で保管する防災用品を是非ご紹介させて戴きたいとご相談したところ快諾戴きました。

当日は3グループに分かれコロナ感染対策をとりながら、工場での地震対策や日頃の構えなどの説明や防災倉庫にある非常食や発電機、簡易トイレ、寝袋、簡易担架、パンクしない自転車等々体験してもらいました。

初めて『防災』というキーワードで地域の方と交流ができたことは大変有意義でした。災害発生時は、自社だけではなく地域とも連携した体制づくりが重要であること、またそのためには日頃から地域の皆さんとの繋がりやコミュニケーションが大切であることも改めて実感しました。

今回ASの防災学習にご理解頂いた豊科南中学校の早川校長様はじめ先生方、事前の準備段階からご足労頂いた地区PTA役員の皆様、各団体を取りまとめて頂いた下鳥羽地区の中島区長様、地区防災の大切さをお話された丸山防災リーダー様、奉仕活動で支援された民生委員の皆様に、あらためまして心より感謝申し上げます。



防災システムをパネルを使い説明



防災備品・防災機器を説明



中島区長より挨拶を頂きました



簡易トイレやノーパンク自転車、発電機、簡易担架、リヤカーに触れて実体験する中学生の皆さん

